

別紙第2号様式

医学系研究に関する情報の公開について

研究機関名*	独立行政法人労働者健康安全機構 大阪労災病院
研究課題名*	Focal-Like Activation Patterns on Automated Activation Mapping With the Affera System: True Focal Activation or Mapping Artifact? (Affera システムにおけるアクチベーションマップの正確性に関する検討)
所属科*	循環器内科
研究責任者*	松永泰治
研究実施期間	開始 西暦 2026 年 4 月 1 日 ~ 終了 西暦 2030 年 12 月 31 日 (予定)
対象疾患(予定症例数)	Affera system にて AT map した症例 (~30 症例)
研究対象となる治療・手術・検査の時期	自 西暦 2026 年 4 月 1 日 ~ 至 西暦 2026 年 12 月 31 日
研究概要*	新しく日本導入された Affera system は pulsed field ablation と radiofrequency ablation の両方を行える Sphere-9 カテーテルを使用でき、高い治療効果が期待されている。その一方で、Affera system の 3D マッピングシステムとしての正確性は十分に検討されていない。今回 Affera system にて focal activation 様に描出されるアクチベーションマップに注目しその正確性を検討する。
倫理的配慮・個人情報の保護の方法について*	連結可能匿名化を行う。対応表はそれぞれの部署（施設・研究室）で厳重に保管する。本研究で得られたデータを当院外へ提供する際には対応表は提供せず、連結可能匿名化されたデータのみを提供する。学会や論文等で研究成果を発表する場合も、個人を特定できる情報を明らかにすることは決して行わない。
研究の問い合わせ先*	循環器内科 松永泰治 (PHS4080)

* 記入必須項目